

Mémoires 2022

第82回 皐月賞(GI)



ベテランに導かれた“頑張り屋” ジョグリフ

ベテランジョッキーの完璧な騎乗に導かれ、僚馬との激闘を制した。

2022年の三冠初戦で一番人気に推されたのは、朝日杯フューチュリティSを制したJRA賞最優秀2歳牡馬ドウデュース。共同通信杯の勝ち馬ダノンベルーガ、東京スポーツ杯2歳S勝ちのイクイノックスと、ここまで2戦2勝の2頭が2、3番人気で続いた。

レースを引っ張ったのは、ドウデュースを抑えて弥生賞ディーブインパクト記念を制したアスクビクターモアだった。ドウデュースは後方から。好位の直後にダノンベルーガやイクイノックスがいて、それらを視界に収める位置を確保したのが、イクイノックスと同じ木村哲也厩舎のジョグリフだった。

4コーナー手前からイクイノックスが進出を開始すると、これにぴったりとついていくジョグリフ。同厩舎の2頭が競り合いながら抜け出していく。息詰まる攻防は、最後にジョグリフが前に出て1馬身差でゴール。皐月賞史上4度目の、同一厩舎のワンツー決着となった。

札幌2歳Sの圧勝で一躍注目されたジョグリフは、その後、朝日杯フューチュリティS5着、共同通信杯2着と連敗。この日は5番人気にとどまっていたが、初コンビの福永祐一騎手が完璧な手綱さばきでエスコートした。スタートを決めてポジションを取ると、馬場状態も考え、外を走って早めのスパート。イクイノックスをきっちり交わした騎乗に、27年目の大ベテランは「してやっつりの気持ちです」と満足げな表情を浮かべた。

管理馬2頭が抜け出した直線を「ワクワクしました」と振り返った木村調教師。「頑張り屋で、体育会系のいい奴です」と評すジョグリフが、まさにその言葉通りの走りで、クラシック第一冠を掴み取った。

第82回皐月賞(GI)

4/17 中山競馬場 2000m(芝・右)曇・良 18頭

着順	馬名	性別	年齢	斤量	騎手	調教師	タイム/着差	人気	通過順位
1	ジョグリフ	牡	3	57	福永 祐一	木村 哲也	1:59.7	⑤	⑤⑤⑥③
2	イクイノックス	牡	3	57	C.ルメール	木村 哲也	1	③	⑦⑤④③
3	ドウデュース	牡	3	57	武 豊	友道 康夫	1 1/4	①	⑬⑫⑬⑭
4	ダノンベルーガ	牡	3	57	川田 将雅	堀 宣行	クビ	②	⑤⑤⑥③
5	アスクビクターモア	牡	3	57	田辺 裕信	田村 康仁	クビ	⑥	①①①①①
6	オニャンコポン	牡	3	57	菅原 明良	小島 茂之	クビ	⑧	⑪⑪⑪⑧
7	ジャスティンロック	牡	3	57	戸崎 圭太	吉岡 辰弥	3/4	⑩	⑮⑮⑮⑮⑮
8	ラーゲルフ	牡	3	57	丸田 恭介	宗像 義忠	クビ	⑯	⑭⑭⑭⑭⑭
9	ジャスティンパレス	牡	3	57	M.デムーロ	杉山 晴紀	1 1/4	⑨	⑰⑰⑰⑰⑰
10	ダンテスヴェー	牡	3	57	吉田 隼人	友道 康夫	ハナ	⑮	⑦⑧⑧⑧
11	ピーアストニッド	牡	3	57	和田 竜二	飯田 雄三	クビ	⑬	③③④③
12	マテンロウレオ	牡	3	57	横山 典弘	昆 貢	クビ	⑭	⑱⑱⑱⑱⑱
13	キラアピリティ	牡	3	57	横山 武史	斉藤 崇史	1/2	④	⑦⑧⑧⑧
14	ホーンティスウェイ	牡	3	57	石橋 脩	牧 光二	クビ	⑫	③③③③
15	グランドライン	牡	3	57	三浦 皇成	高木 登	1 1/4	⑦	⑱⑱⑱⑱⑱
16	デシエルト	牡	3	57	岩田 康誠	安田 隆行	2 1/2	⑦	②②②②②
17	サトノヘリオス	牡	3	57	岩田 望来	友道 康夫	2 1/2	⑪	⑦⑧⑧⑧
18	トーセンヴァンノ	牡	3	57	木幡 巧也	小椋山 悟	6	⑯	⑪⑪⑪⑪⑪

単勝 ④910円 複勝 ④240円 ⑯210円 ⑫140円 枠連(7-8) 1,730円
馬連 ⑭-⑯3,570円 馬単 ⑭-⑯7,540円 ワイド ⑭-⑯1,220円 ⑫-⑭530円 ⑫-⑯550円
3連複 ⑫-⑬-⑭4,190円 3連単 ⑭-⑯-⑫32,840円

ハロンタイム 12.6-11.0-11.6-12.2-12.8-12.3-12.0-11.4-11.5
通過タイム 600m ⑬35.2-800m ⑭47.4-1000m ⑭1:00.2-1200m ⑫1:25.5-1400m ⑬1:24.8-1600m ⑬1:36.8-1800m ⑬1:48.2



優勝馬:ジョグリフ

2019.2.25生 牡 栗毛
父:ドレフォン
母:アロマティコ
母の父:キングカメハメハ
生産:安平・ノーザンファーム
馬主:(有)サンデーレーシング